



げたの展示コーナーを紹介する＝島田市博物館

島田市博物館で9日、学芸員実習生による展示「ごりやたまゲタ！」夏祭りで下駄をもっと身近に」が始まった。同館で6日間の実習に取り組んだ県内出身の大学生4人が、一つの展示を作り上げた。9月2日まで。

(島田支局・土屋咲花)

学芸員実習生、展示に挑戦

げたは「家族」興味持ってね

島田市博物館、来月2日まで

実習生は岸端愛美さん(静岡文化芸術大)、鈴木愛子さん(成城大)、斎藤晴香さん(鶴見大)、藤見彩絵さん(京都学園大)。4人は小学校高学年をターゲットに常設展の一角にさまざまな種類のげた5点を展示し、説明書きを付けた。げたを家族に見立て、一足ごとに「貫太郎」「珠子」など

の名前をつけて親しみを演出。鼻緒をデザインするコーナーも設け、来場者も参加

できるようにした。4人は「げたに興味を持ってもらえるように意識した。展示を見て、夏祭りなどでげたを話してあげれば」と話した。